
if EVANGELION

時の人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

i f E V A N G E L I O N

【Nコード】

N 4 9 5 0 I

【作者名】

時の人

【あらすじ】

エヴァンゲリオンのもう一つの可能性の世界について書いてみました。

始まりの朝（前書き）

処女作なので内容にあまり期待しないでください。

始まりの朝

朝。

それは地球のどんな場所にもやって来る。そして誰にでもやって来る。

ベッドの上でぐっすりと眠っている少年にも。

少年の顔は中性的で、クラスで一番ではないが確実に人気がある顔である。

何とも幸せそうな顔で眠っている少年。しかし、その幸せは長くは続かない。

3

そこへ忍び寄る1人の少女がいるからだ。

髪は赤みがかった茶髪、顔は誰もが認めるような美少女である。

少女は

もう少し寝かせてあげよう

……とは思わず、

「……シンジ、シンジっ、起きなさいよっ」

と、声を張り上げる。

「……んう？」

シンジと呼ばれた少年は目を覚ました。

「よーやくお目覚めね、バカシンジっ」

「……なんだぁ……アスカかぁ……」

シンジの言葉にアスカと呼ばれた少女はさらに声を張り上げる。

「なんだとは何よっ、こうして毎朝遅刻しないように起こしにきてやってるのにつ。それが幼なじみに対する感謝の言葉ぁ？」

「……うん……ありがと……だからもう少し寝かせてよ……」

また寝ようとするシンジ。

「何甘えてんのっ、さっさと起きなさいよっ」

そういつてアスカはシンジの布団を一气にはがす。

バサッ

「………!」

アスカはシンジの格好を見て

バシッ

・・・平手打ち。

「エッチバカ変態っ！信じらんないっ！」

「仕方ないだろっ・・・朝なんだからっ！」

リビング

「シンジったら折角アスカちゃんを迎えに来てくれるのに・・・
しょうもない子ねえ」

シンジの母ユイが洗い物をしながら呆れている。

「・・・ああ」

父ゲンドウは新聞を読みふけている。

「あなたも、新聞ばかり読んでないでさっさと支度してくださいっ。」

「・・・ああ。」

その間ゲンドウは新聞から目を離さない。

「もう、いい歳してシンジと変わらないんだから。」

「・・・キミの支度はいいのか？」

「はい、いつでも。もう、会議に遅れて冬月先生にお小言言われるの
アタシなんですよ」

「……キミはモテるからな」

「バカ言っていないで、さつさと着替えてくださいっ。」「……あ
あ。分かってるよ、ユイ。」

玄関

「ほら、さつさとしなさいよっ。」

アスカが急かす。

「……もう、分かってるよ……ホントっウルサイんだからアス
カは……」

シンジは聞こえないように言ったつもりが、

「何ですってえっ!」

バシっ

「……………」

全部聞こえていたようだった。

「……それじゃあ、おぼさまっ、行ってきますっ」

「……行ってきます……」

「はい、行ってらっしゃい。……もう、あなたっいつまで読んでるんですかっ」

「……ああ、分かってるよ……ユイ。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4950i/>

if EVANGELION

2010年10月10日14時25分発行